

# 【益城町】平成28年熊本地震による下水道施設被害と復旧状況について

(H28.6.17 17:00時点)

## (1) 下水管

- ・調査が必要と判断された下水管（延長約162km）について、概略点検を実施し、4月23日までに終了。
- ・概略点検では、1,154箇所のマンホールを開けて流下状況を確認。点検の過程で発見した不具合箇所（6箇所）について、応急対応済。万々に備えて、バキューム車が常時待機。
- ・以上により、流下機能は確保済。
- ・概略点検により、詳細調査が必要と判断された約37kmについては、テレビカメラ等による調査を実施し、5月26日までに終了。被災延長は約16km。
- ・4月25日の水道の供給再開以来、処理場への流入、マンホールでの通水を確認しており、下水道への不具合は確認されていない。

※下水道が使用可能である旨が十分に伝わっていなかったことから、町のホームページに掲載するとともに、国交省等の支援部隊が避難所を巡回・点検の上、トイレが使える旨を避難所へ伝達(5月5日～5月6日)

・概略点検の様子(写真①)  
道路が損傷していても、下水は問題なく流れていることを確認



・不具合箇所の応急対応(写真②)  
閉塞した箇所を仮配管でバイパス



・不具合箇所の応急対応(写真③)  
破損した箇所を被覆し止水



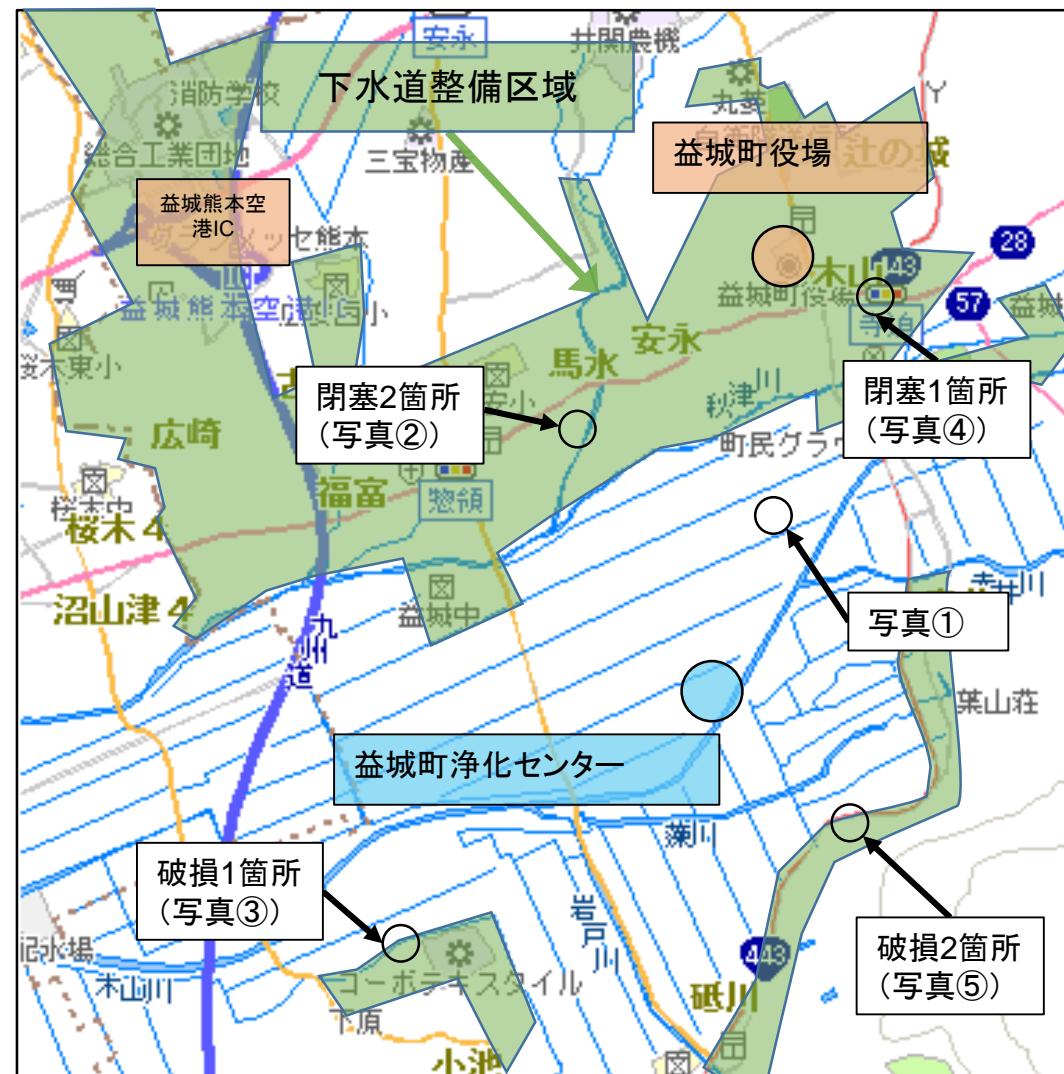
・不具合箇所の応急対応(写真④)  
閉塞した箇所を仮配管でバイパス



・不具合箇所の応急対応(写真⑤)  
破損した箇所を補修



## 益城町下水道整備区域図



## (2) 下水処理場（益城町浄化センター）

- ・一部の系列で被災したため、他の系列で最低限の処理機能を確認。段階的に応急復旧し、4月30日時点で発災前の下水量を処理できるまで機能回復済。



漏水による汚泥処理設備の故障



移動汚泥脱水車で代替

【参考】益城町浄化センターの処理能力  
(単位:m<sup>3</sup>/日)

	処理能力	下水量
発災前	13,160	約7,500
発災直後	4,300	—
4/22時点	6,600	5,600
4/30時点	約11,000	(6/14)8,904